

経営比較分析表（令和3年度決算）

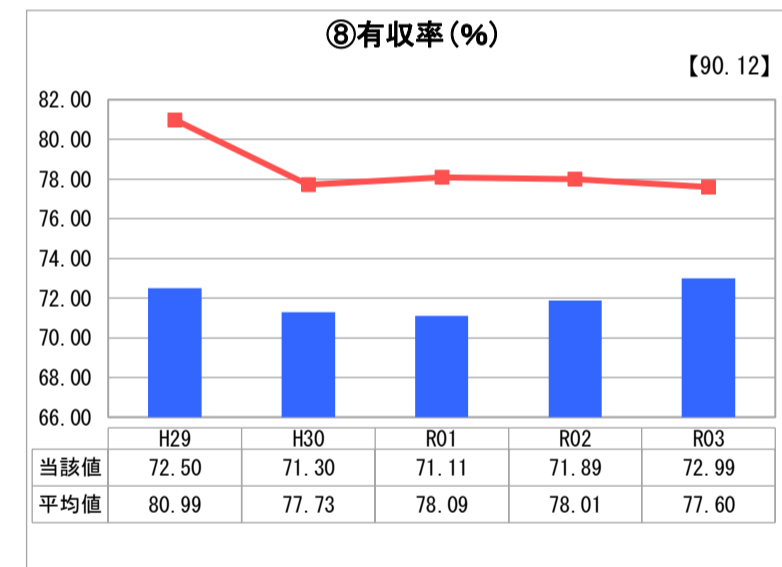
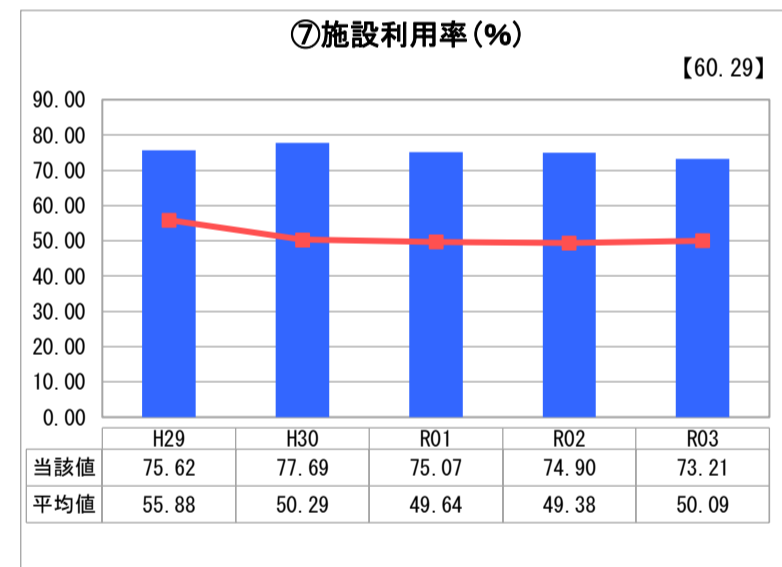
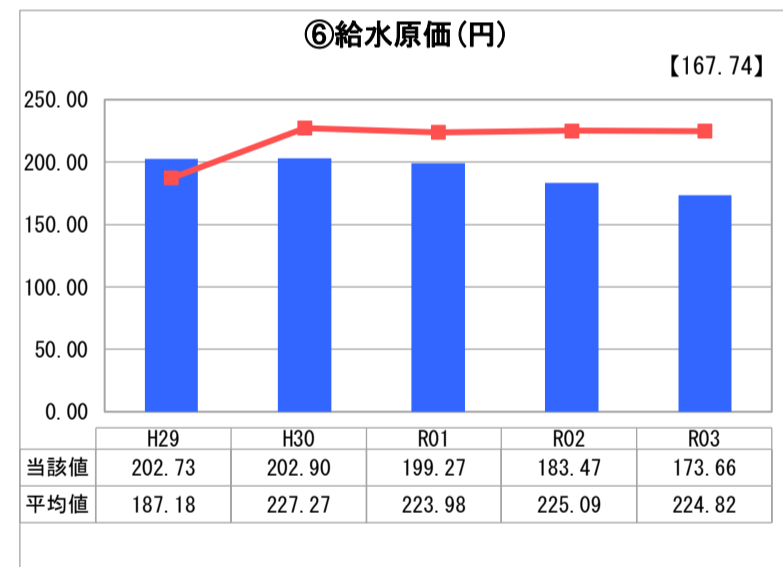
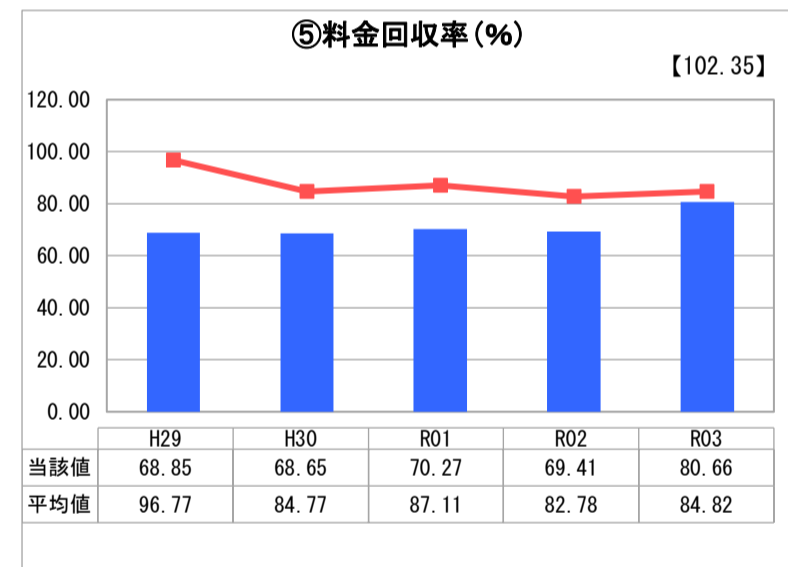
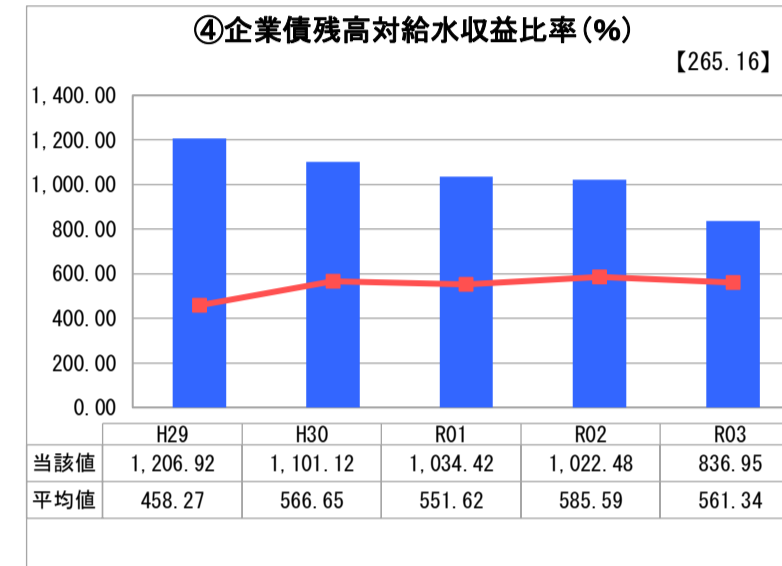
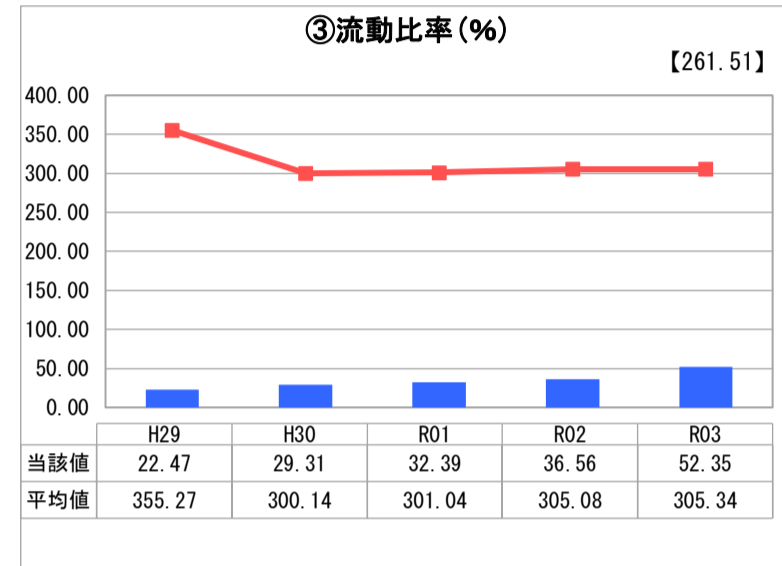
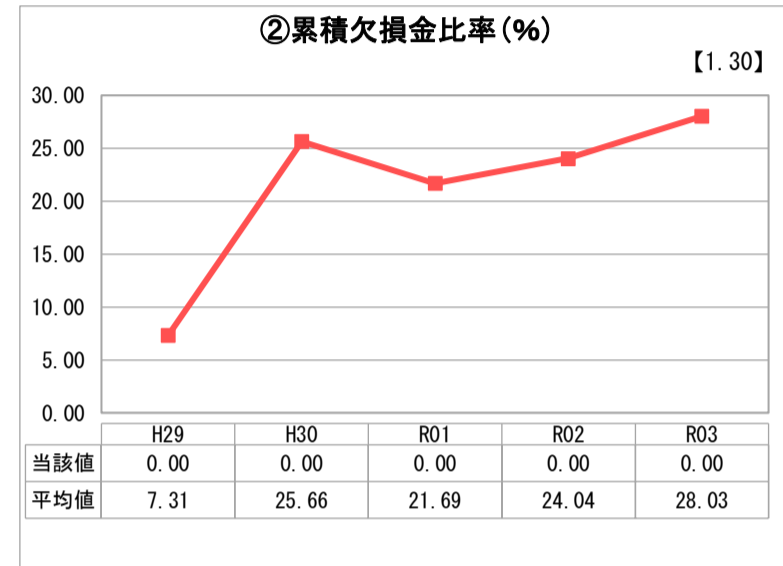
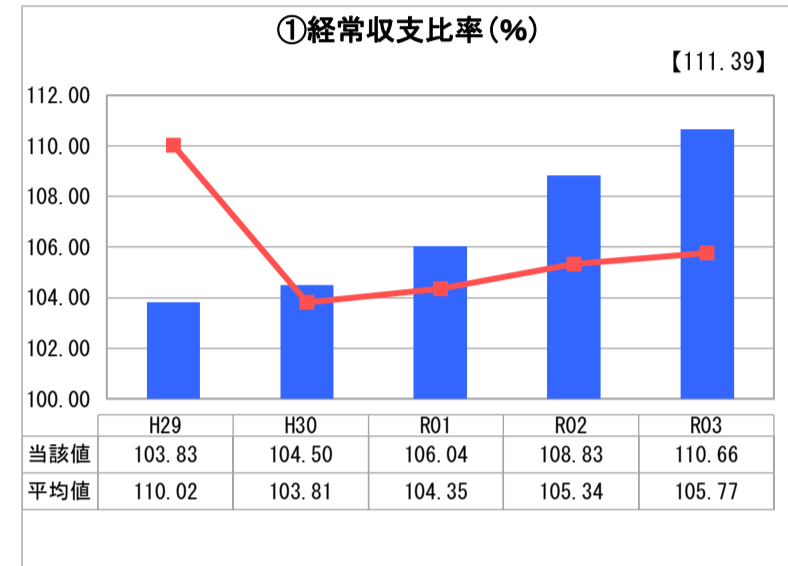
福井県 越前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	52.37	47.39	2,860	

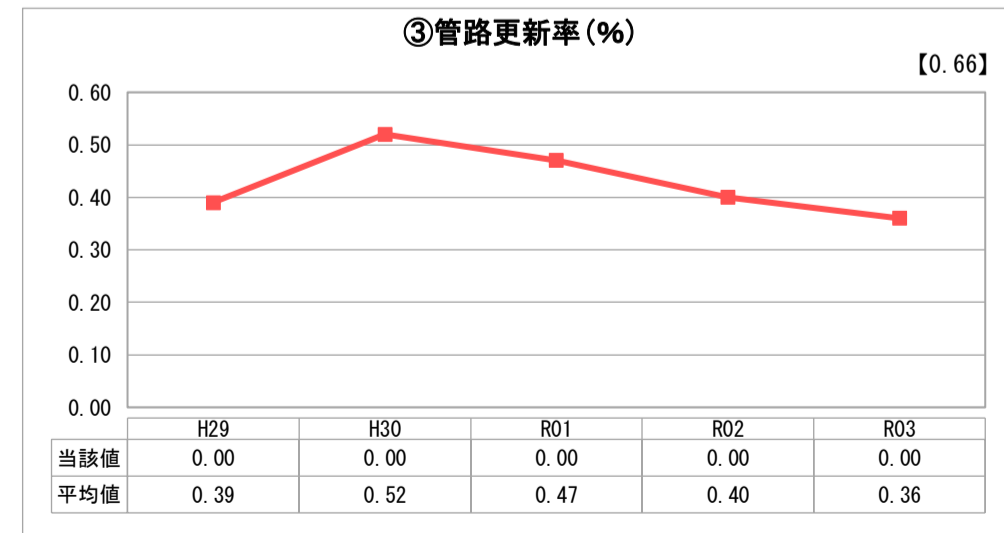
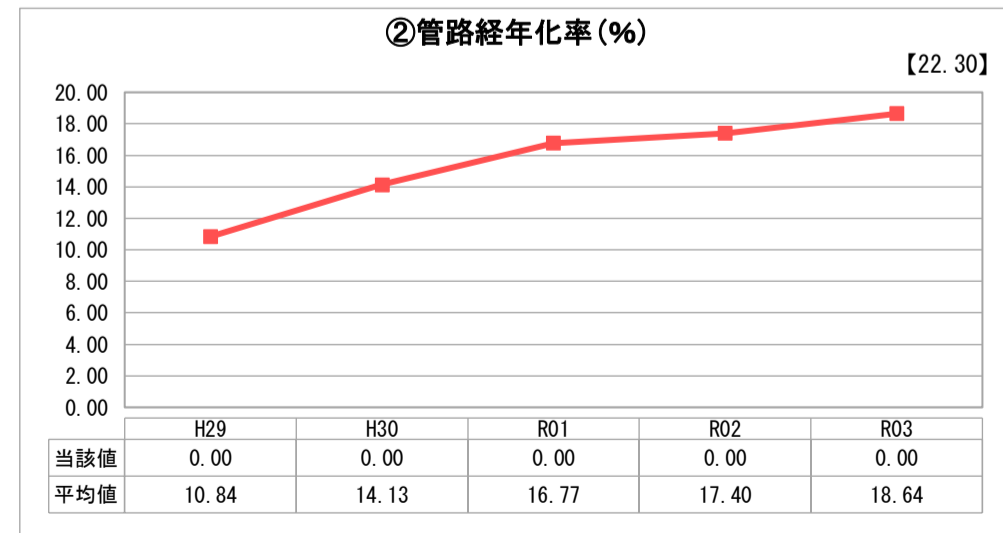
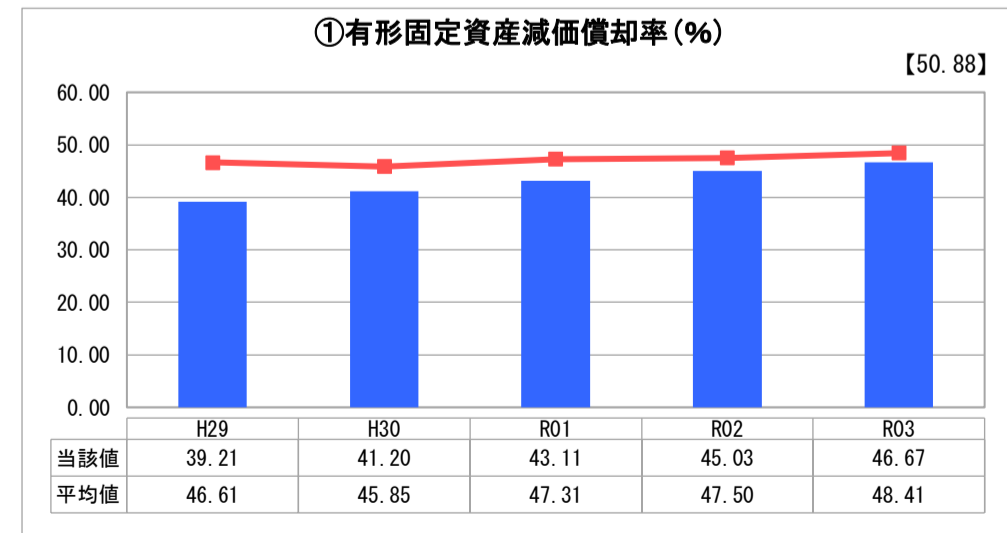
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,581	153.15	134.38
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,698	14.42	672.54

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、他会計負担金に依存しているため100%を上回っており、③流動比率は平成26年度より減少傾向にあったが、平成30年度からは横ばいである。また⑤料金回収率は約70%と低く、ここ近年は横ばいであったが令和3年度は10%改善した。今後も適切な料金収入を確保する必要がある。

④ 企業債残高対給水収益比率は、減少傾向で、類似団体平均に近づいてきている。

当町は平成17年の町村合併から上水道区域の統合を行い、事業は完了しているものの、今後も類似比率で推移していくものと考えられる。

⑥ 給水原価について、緩やかに減少しており、平成30年度から類似団体平均を下回っているが、更なる維持管理費の削減といった経営改善が必要である。

⑦ の施設利用率は高い水準で推移している。⑧ の有収率は、約73%と低いが、令和元年からは、緩やかに上昇している。今後も施設改善や漏水調査結果に伴う修繕を実施していく予定である。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は46%と類似団体平均を下回っているが、緩やかに上昇している。平成17年の町村合併に伴う上水道区域の統合事業を実施する際に、主要箇所管路布設替は行ったものの、古いものでは昭和50年代の下水道工事と同時埋設した管路が残っているため、漏水調査結果に基づく漏水修繕を実施する必要がある。

また、浄水・配水施設については、平成8年度より実施した朝日地区簡易水道統合事業による再整備から25年以上が経過しているため、早急に老朽化対策を行う必要がある。

全体総括

当町の給水率は99%を超えているが、平成17年町村合併から16年が経過した現在、施設の老朽化や人口の減少等を踏まえ、自主財源の確保や効率の良い事業運営が必要とされている。

令和5年度に、水道事業ビジョンを策定する予定で、それに基づき、計画的に施設の更新、上水道事業区域の料金改定等の施策を実施していく必要がある。